

報道関係各位 クロージングレポート 2021年8月26日

ART OSAKA 2021

2021.7.18 Sun - 7.20 Tue 大阪市中央公会堂 3階

新会場、歴史が薫る大阪市中央公会堂での開催、成功裏に閉幕。

ART OSAKA 史上、過去最高売上も記録。

入場者数：約2,520名（一昨年比 3,060名）

売上総額：約1億1600万円（一昨年比 5692万）



1. 中集会室の様子

第19回目となった「ART OSAKA 2021」が7月18日(日)–20日(火)[内覧会：18日(日)12:00-16:00]の3日間、大阪市中央公会堂にて開催され、総勢46の現代美術ギャラリーが出展し、成功裏に閉幕致しました。

今年のART OSAKA 2021は、ART in CASO 2006（於：海岸通りギャラリーCASO）以来の15年ぶりとなる平場でのブース形式にて、大阪市中央公会堂(大正7年竣工、国指定重要文化財)で初開催となりました。会場となった3階ホール(中集会室、小集会室)は、美しい装飾が施された天井の高い優雅な空間で、来場者からは「貴重な内部装飾とアートを合わせて鑑賞することも楽しい」という声が多数寄せられ、近代建築と現代美術とのコラボレーションをお楽しみ頂ける贅沢なフェアとなりました。

新型コロナウイルスの感染症対策としては、検温、手指アルコール消毒をはじめ、入場者オペレーションは時間指定の完全事前予約制で実施致しました。お客様を迎える環境がこれまでと異なりましたが、初日18日(日)は予定入場枠が完売した他、19日(月)・20日(火)も平日にも関わらず、多くの方にご来場頂くことができました。2年ぶりとなったART OSAKA でしたが、改めて多くの方が楽しみにして下さっていることを実感いたしました。

また公会堂が位置する中之島には多数の文化芸術施設が集積します。フェア開催に当たり「クリエイティブアイランド中之島実行委員会*」と連携し、国立国際美術館・大阪市立東洋陶磁美術館・grafの3施設にご協力頂き、入場料や飲食代が優待される相互割引サービスも実施することができました。

今回の大阪市中央公会堂でのフェア開催や、他機関との連帯は、新型コロナウイルスがあったからこそ生まれた、新しいチャレンジでしたが、ART OSAKA 2021が新しい一歩を踏み出すことができた貴重な機会となりました。改めて「ART OSAKA 2021」にご来場くださった皆様、また開催にあたりご支援下さいました関係企業・団体の皆様に心よりお礼申し上げます。

*「クリエイティブアイランド中之島」は、中之島にある14施設による国内最大規模の創造ネットワーク(<https://nakanoshimalab.jp>)

出展ギャラリーの様子

今回は、初出展のギャラリーや久しぶりに出展するギャラリーも多く、例年とは異なる顔ぶれとなり、フェアをより新鮮に感じさせました。

masayoshi suzuki gallery(愛知)はART OSAKA 初出展。愛知・岡崎を代表する作家、国島征二を紹介しました。身近にあるものを記憶と共に樹脂で封じ込めた「Wrapped Memory」シリーズ等作品群は、端正で落ち着いた小集会室の雰囲気とマッチしていました。



2. masayoshi suzuki gallery 展示の様子



3. 国島征二 作品

約10年ぶりの出展となったケンジタキギャラリー(愛知・東京)は、大阪出身で国際的に活躍する塩田千春を紹介。地元開催のフェアにてご覧いただける貴重な機会となりました。

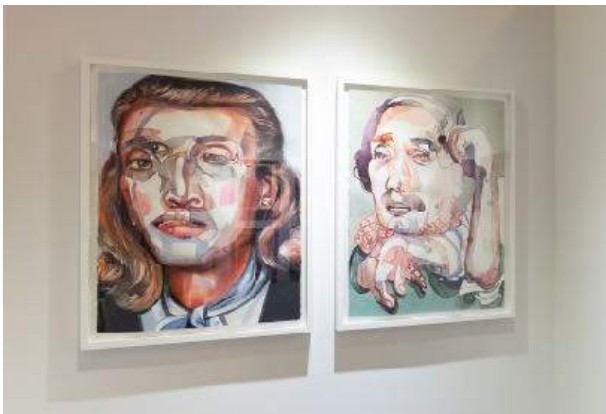


4. ケンジタキギャラリー 展示の様子



5. 塩田千春 作品 ©JASPAR, Tokyo, 2021 and Chiharu Shiota

例年ART OSAKA に出展しているギャラリーの展示も、展示会場がホテルからホワイトキューブに変わる中で、新たな印象を与えました。KOKI ARTS(東京)からは、アメリカ・ポートランドの作家ストーム・サーブを紹介。人物の顔を多角的に描くことで、見れば見るほどその人物の内面やパーソナリティをも想像させる作品を紹介しました。



6. ストーム・サーブ 作品



7. KOKI ARTS展示の様子

愛らしい動物たちを描き出す住吉明子はTEZUKAYAMA GALLERY(大阪)から出展し、昨年の個展で好評を博した金箔・銀箔を用いたシリーズを披露。作家自身が動物の習性や体躯について研究しているからこそ生み出される、生命力あふれる動物たちは来場者を魅了しました。



8. 住吉明子 作品



9. 来場者が作品を楽しむ様子

オンラインビューイングサイト「360 art room」での紹介

感染拡大防止の観点からご来場ができない遠方や海外のお客様に向けて、360度カメラで展示風景を撮影、紹介するサービス「360 art room」を、昨年のartTNZ、ART OSAK WALL に続き、実施いたしました。

前述した出展ギャラリーの様子はごく一部ですので、各出展ギャラリーの様子はこちらでもご覧頂ければ幸いです。

<https://360artroom.net/exhibition/180/>

作品売上について

作品売上は過去最高額となる約1億1600万円に上りました。近年は毎年増加傾向にありましたが、これまでの最高売上だったART OSAKA 2019 (作品売上5692万円) に比べて2倍以上となり、大きく増加しました。

その要因には、フェア会場がホテルから平場へ移ったことにより、より大きいサイズの作品が展示されやすくなったことが上げられるでしょう。実際、販売作品単価を2019年と2021年とで比較すると約7万円から約42万円と大きく上昇しました。

また最近では、有名起業家の現代アートコレクションや現代アートをテーマにした番組が、テレビや雑誌等のマスメディアで紹介されることが増えたり、ビジネスパーソン向けに現代アートを活かしたクリエイティブシンキングが話題になるなどしています。さらには、外出自粛の影響で、自宅で過ごす時間が増え、居心地のよい住環境づくりにこだわる方が増えているとも感じます。出展者からも「購買意欲のある若い方が増えた」という声もあり、現代アートコレクションに対する社会的認知が新たな層へ広がりを見せているように感じられました。

今後に向かって

依然として、新型コロナウイルス収束の目処が立たず厳しい状況が続いておりますが、来年、ART OSAKAは記念すべき20回目を迎えます。来年、またその後の2025年の大阪万博にも向け、フェアを主軸に他機関とも連携を図り、大阪・関西から、日本の現代美術を国内外に発信して大きな流れを作り出せるよう、より一層の力を注いで参る所存です。

どうぞ今後とも変わらぬご支援ご協力の程をお願い申し上げます。

協賛

株式会社 安井建築設計事務所 / 有限会社ザ・グローブ / PHILLIPS / 一般財団法人おおさか創造千島財団 / 滋慶学園グループ / 株式会社 竹中工務店 / 株式会社 宮本工業所 / サントリーホールディングス株式会社 / 株式会社 大林組 / ホルベイン画材株式会社 / 株式会社ダイム / 宝塚市立文化芸術センター / 株式会社 静岡銀行 / UEK株式会社 / 上橋歯科医院 / 株式会社 ウエアハウス / アウラ現代藝術振興財団 / 紀南アートウィーク2021 / 弁護士法人One Asia大阪オフィス / ART PASS

協力

毎日新聞旅行 / クリエイティブアイランド中之島実行委員会

後援

公益財団法人 大阪観光局 / ワンピース倶楽部 / パトロンプロジェクト / 一般社団法人アートのある暮らし協会

メディアパートナー

FM802 / FM COCOLO / Art Scenes (アートシーンズ)

パートナーイベント

UNKNOWN ASIA / DELTA

パートナーホテル

ホテルグランヴィア大阪

ART OSAKA 2021 出展ギャラリー

- [大阪] アートコートギャラリー、カペイシャス、DMOARTS、ギャラリーほそかわ、ギャラリーノマル、KAZE ART PLANNING、Nii Fine Arts、ノートギャラリー、+1 art、studio J、TEZUKAYAMA GALLERY、サードギャラリーAya、YOD Gallery、Yoshiaki Inoue Gallery
- [京都] ART OFFICE OZASA、芦屋画廊kyoto、COHJU contemporary art、FINCH ARTS、ギャラリー宮脇、MORI YU GALLERY
- [奈良] Gallery OUT of PLACE
- [石川] モトヤマイケウチ
- [愛知] AIN SOPH DISPATCH、JILL D'ART GALLERY、KENJI TAKI GALLERY、LAD GALLERY、masayoshi suzuki gallery、NODA CONTEMPORARY
- [東京] Contemporary HEIS、eitoeiko、FUMA Contemporary Tokyo | 文京アート、Gallery 38、GALLERY KOGURE、GALLERY 麟、ギャラリー椿、hpgrp GALLERY TOKYO、小林画廊、KOKI ARTS、小山登美夫ギャラリー、メグミオギタギャラリー、MEM、ミヅマアートギャラリー、NANZUKA UNDERGROUND、タグチファインアート、ときの忘れもの、万画廊

主催 : 一般社団法人日本現代美術振興協会(APCA)

代表理事 : 森裕一(MORI YU GALLERY)

副代表理事 : 井上佳昭(Yoshiaki Inoue Gallery)

理事 : 林聡(ギャラリーノマル)

石田克哉(MEM)

加藤義夫(加藤義夫芸術計画室)

八木光恵(アートコートギャラリー)

山口 孝(ギャラリーヤマガチクンストパウ)

顧問 : 細川佳洋子(ギャラリーほそかわ)

監事 : 松尾良一(TEZUKAYAMA GALLERY)

事務局 : 宮本 典子、山岸青葉、川西遥、室谷智子

写真撮影 : 待夜由衣子(Yuiphotop)

お問い合わせ

一般社団法人日本現代美術振興協会 ART OSAKA 事務局 担当 : 山岸、室谷

〒542-0062 大阪市中央区上本町西4-1-68 T. 06-7506-9347 / E. info@artosaka.jp